

教えて！米子城

第6回

米子の城下町について その1



歴史大好き
ミナちゃん



米子の歴史・文化（カルチャー）の
伝道師 かるちゃん



生粋の米子っ子
ジローくん

同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**。米子の歴史や文化（カルチャー）にくわしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回は、米子城を中心に広がる城下町について学びます。

ジローくん：ぼくたちが住んでいる米子の町って、米子城の城下町として発展してきた歴史があるんだよね。

ミナちゃん：時代を経て町の様子はずいぶん変わってしまっているけど、町中のいたるところに当時の痕跡が残っているって聞いたわ。

かるちゃん：そうだね。例えば湊山公園の正面入口付近に11本のクロマツの大木があるんだけど、これは**潮止め松**といって、今から400年ほど前、米子城築城の際に防潮林として植えられたといわれているものなんだよ。

ジローくん：それって、米子市の天然記念物になっているよね。

かるちゃん：そう。当時はそのあたりが海岸線で、松並木の向こうは中海だったんだ。湊山公園の日本庭園の中にある**清洞寺跡**は、もとは亀島と呼ばれる小島だったんだけど、米子城の水上交通の便に着目していた吉川広家が米子城築城の際にここを埋め立て、陸続きの船着場にしたといわれている。その後、城主や城代ゆかりの寺が置かれ、最後に荒尾氏の家臣、村河氏が江尾から清洞寺を移して菩提寺としたので、この名前と呼ばれるようになったんだよ。

ミナちゃん：大きな岩があって、その上に石塔が3つ並んでいるところね。

かるちゃん：2代城主加藤貞泰や3代城主池田由成が先祖供養のために作った**五輪塔**のことだね。そんな歴史もあるからか、清洞寺跡は、米子地方の地藏信仰のひとつ、札打ち供養打止めの聖地にもなっているんだ。ただし、五輪塔や岩に直接お札を貼ったりしてはだめだよ。清洞寺跡は米子市指定の史跡にもなっているからね。

ジローくん：史跡や文化財を汚したり傷つけたりしてはいけないってことだね。

かるちゃん：そのとおり。それから、清洞寺の船着場は米子城の**外堀**からも**内堀**からも同じくらい近い位置にあったので、大型船をここに停泊させて小船に乗り換え、それぞれの堀を利用して城下を行き来することができたんだ。前回話した深浦が軍港だとすれば、こちらは物流の中継基地など商港としての役割があったといえるね。

ミナちゃん：城を挟むようにして、北に商港、南に軍港が配置されているのが、航空写真を見るとよくわかるわね。

かるちゃん：城や堀、町並みなどの位置関係も理解しやすいからね。昔の絵図もこんなイメージだね。そうだ！次回は絵図を調べてみようか。町割りなどを見ていくといろいろな特長がわかってくるからね。

ジローくん：賛成。それは面白そうだ。古の米子まちなかバーチャル探検隊だね。

次回は、絵図を見ながら城下町米子について学びます。おたのしみに！



上空からみた米子城跡とその周辺（航空写真）



潮止めの松（米子市指定天然記念物）



清洞寺跡（米子市指定史跡）